

2023年8月29日

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

2023年度 災害不安ランキング

～不安に思う災害 1位は「地震」、災害に不安を多く感じている年代 1位は「50代」～

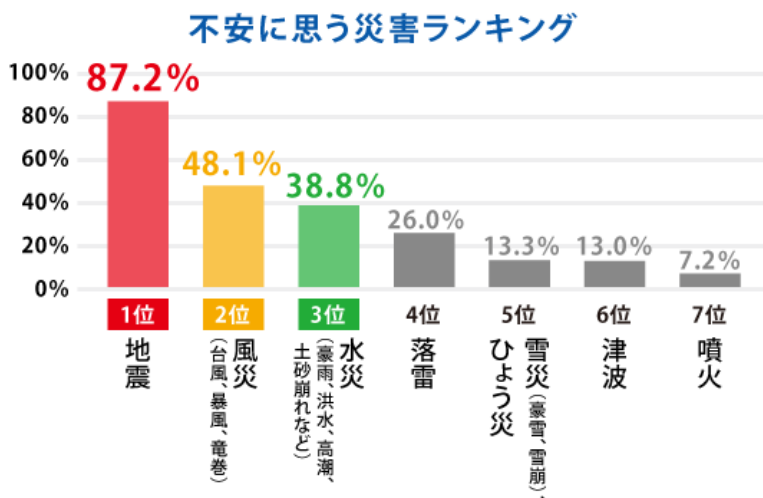
近年、地震や豪雨などの自然災害が多発しており、火災保険で対応する事故のうち6割超の原因を自然災害が占めるようになってきました。

ジェイアイ傷害火災保険株式会社（代表取締役 兼社長執行役員：金子和彦）では、皆様が災害のリスクを認識し、必要な対策を検討していただくことを目的として、防災の日にあわせて各地域・年代の方々に不安に思う災害についてアンケートを実施しています。2023年度の結果では、不安に思う災害は2年連続で「地震」が1位に、災害に不安を多く感じている年代は「50代」が1位（昨年2位）となりました。

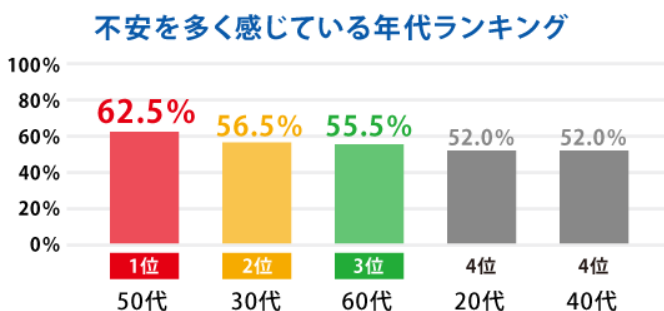
また、防災への取り組み等のアンケートも併せて行い、別紙のとおりまとめました。

1. 結果：

①不安に思う災害ランキング



②災害に不安を多く感じている年代ランキング



注) ①複数回答となります。また、災害の種類は多岐に渡りますが、当調査では自然に発生する災害（落雷を含む）に限定しています。

②Q1.の「とても不安を感じており、被害に遭う可能性が高いと考えている」及び「やや不安を感じており、被害に遭う可能性があると考えている」と回答した方の合計（20代から60代を対象）

2. 上記以外の結果サマリー：

* 本調査データの詳細は以下リンクからもご覧いただけます。

URL：<https://www.jihoken.jp/mado/cat1/8407/#bessi>

① 災害で失うことに不安を感じる 1 位は「家族・知人の生命や健康」⇒詳細 Q3.

「家族・知人の生命や健康」に続いて、「自身の生命や健康」、「家・家財・車などの財産」が同率 2 位という結果になっています。また「自身の生命や健康」に不安を感じている人ほど、積極的に防災に取り組んでいる傾向が出ています。

② 防災の取り組み 1 位は「食料や飲料水などの備蓄」、入手したい情報 1 位は「安否確認方法」⇒詳細 Q4. Q5.

「既に行っている」または「今後行いたいと考えている」防災の取り組みの 1 位は「食料や飲料水などの備蓄等」で 3 割弱の方が回答しています。今後入手したい情報の 1 位は「家族などの安否確認方法」で 31.5%となっています。

③ 防災の取り組みが難しい理由 1 位は「災害がいつ来るかわからないので、緊張感を保てない」⇒詳細 Q6. Q7.

防災に十分に組み合っていない回答は 79.8%と高い割合になっています。なお、災害への不安を高く感じている層であっても 7～8 割の方は取り組みが進んでおらず、不安が行動に必ずしも結びついていない結果となりました。

④ 保険に対する不安 1 位は「保険金がどの程度支払われるかわからない」⇒詳細 Q9.

何らかの不安があると回答した方は 67.2%という結果であり、保険に加入している方も含めても保険金支払いや補償内容などについては不安を感じている方が多い結果となりました。

3. 調査概要：

- ① サンプル数：1,000 名
- ② 対象：20 代～60 代 各 200 名を以下の全国 10 地域において人口比で設定
北海道、東北、北関東・甲信、南関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州・沖縄
- ③ 方法：インターネット調査
- ④ 期間：2023 年 7 月 7 日～7 月 10 日
- ⑤ 設問：10 問（上位表示の項目に回答が偏らないよう質問時に項目をランダムに表示）

4. 利用条件：

当記事内容は出典元として「ジェイアイ傷害火災保険（株式会社）」を明記いただける場合に限り、転載が可能です。

以上